

## 【表紙】

【提出書類】	公開買付報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年5月19日
【報告者の氏名又は名称】 / 1	Tiger投資事業有限責任組合
【報告者の住所又は所在地】	東京都渋谷区神宮前一丁目5番8号
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング 森・濱田松本法律事務所外国法共同事業
【電話番号】	03-6213-8108
【事務連絡者氏名】	弁護士 尾本 太郎 / 同 松下 憲 / 同 山本 義人 / 同 坂尻 健輔
【代理人の氏名又は名称】	該当事項はありません。
【代理人の住所又は所在地】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	該当事項はありません。
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
[ 報告者の氏名又は名称 ] / 2	Lion投資事業有限責任組合
[ 報告者の住所又は所在地 ]	東京都渋谷区神宮前一丁目5番8号
[ 最寄りの連絡場所 ]	東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング 森・濱田松本法律事務所外国法共同事業
[ 電話番号 ]	03-6213-8108
[ 事務連絡者氏名 ]	弁護士 尾本 太郎 / 同 松下 憲 / 同 山本 義人 / 同 坂尻 健輔
[ 代理人の氏名又は名称 ]	該当事項はありません。
[ 代理人の住所又は所在地 ]	該当事項はありません。
[ 最寄りの連絡場所 ]	該当事項はありません。
[ 電話番号 ]	該当事項はありません。
[ 事務連絡者氏名 ]	該当事項はありません。
【縦覧に供する場所】	Tiger投資事業有限責任組合 (東京都渋谷区神宮前一丁目5番8号) Lion投資事業有限責任組合 (東京都渋谷区神宮前一丁目5番8号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

(注1) 本書中の「公開買付者」とは、Tiger投資事業有限責任組合及びLion投資事業有限責任組合を総称して又は個別にいいます。また、それらを総称して「公開買付者ら」ということがあります。

(注2) 本書中の「対象者」とは、サンケイリアルエステート投資法人をいいます。

(注3) 本書中の記載において計数が四捨五入又は切り捨てされている場合、合計として記載される数値は必ずしも計数の総和と一致しません。

(注4) 本書中の「法」とは、金融商品取引法(昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。)をいいます。

(注5) 本書中の「令」とは、金融商品取引法施行令(昭和40年政令第321号。その後の改正を含みます。)をいいます。

(注6) 本書中の「府令」とは、発行者以外の者による株券等の公開買付けの開示に関する内閣府令(平成2年大蔵省令第38号。その後の改正を含みます。)をいいます。

(注7) 本書中の「株券等」とは、投資口に係る権利をいいます。

(注8) 本書中の「営業日」とは、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号。その後の改正を含みます。)第1条第1項各号に掲げる日を除いた日をいいます。

(注9) 本書中の記載において、日数又は日時に記載がある場合は、特段の記載がない限り、日本国における日数又は日時を指すものとします。

- (注10) 本書の提出に係る公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）は、投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号。その後の改正を含みます。以下「投信法」といいます。）に基づき設立された投資法人である対象者の投資口（以下「対象者投資口」といいます。）を買付けの対象としています。本公開買付けは、法で定められた手続及び情報開示基準を遵守して実施されますが、これらの手続及び基準は、米国における手続及び情報開示基準とは必ずしも同じではありません。特に米国1934年証券取引所法（Securities Exchange Act of 1934）（その後の改正を含みます。以下「米国1934年証券取引所法」といいます。）第13条(e)項又は第14条(d)項及び同法の下で定められた規則は本公開買付けには適用されず、本公開買付けはこれらの手続及び基準に沿ったものではありません。本書及び本書の参照書類の中に含まれる財務情報は、日本の会計基準に基づいて作成された財務諸表からのものであり、当該財務諸表は、米国の一般的に許容される会計基準に遵守して財務諸表を作成することが求められる会社の財務諸表と同等のものとは限りません。また、公開買付者ら及び対象者は米国外で設立された法人であり、その役員の全部又は一部が米国外の居住者であることなどから、米国の証券関連法に基づいて主張しうる権利を行使又は請求することが困難となる可能性があります。さらに、米国の証券関連法の違反を根拠として、米国外の法主体又はその役員に対して米国外の裁判所において提訴することができない可能性があります。加えて、米国外の法主体・当該法主体の関連者（affiliate）をして米国の裁判所の管轄に服せしめることができる保証はありません。
- (注11) 本公開買付けに関する全ての手続は、特段の記載がない限り、全て日本語で行われるものとします。本公開買付けに関する書類の全部又は一部について英語で作成される場合において、当該英語の書類と日本語の書類との間に齟齬が存した場合には、日本語の書類が優先するものとします。
- (注12) 本書又は本書の参照書類の記載には、米国1933年証券法（Securities Act of 1933）（その後の改正を含みます。）第27A条及び米国1934年証券取引所法第21E条で定義された、「将来に関する記述」が含まれています。既知若しくは未知のリスク、不確実性又はその他の要因により、実際の結果がこれら将来に関する記述と大きく異なることがあります。公開買付者ら、対象者又はそれらの関連者は、「将来に関する記述」として明示的又は黙示的に示された予測等が結果的に正しくなることを何ら約束するものではありません。本書又は本書の参照書類の中の「将来に関する記述」は、本書の日付の時点で公開買付者らが有する情報を基に作成されたものであり、法令で義務付けられている場合を除き、公開買付者ら、対象者又はそれらの関連者は、将来の事象や状況を反映するためにその記述を更新又は修正する義務を負うものではありません。

## 1 【公開買付けの内容】

### (1) 【対象者名】

サンケイリアルエステート投資法人

### (2) 【買付け等に係る株券等の種類】

投資口

### (3) 【公開買付期間】

2026年1月7日（水曜日）から2026年5月18日（月曜日）まで（86営業日）

## 2 【買付け等の結果】

### (1) 【公開買付けの成否】

本公開買付けにおいては、本公開買付けに応募された投資口（以下「応募投資口」といいます。）の総数が買付予定数の下限（247,563口）に満たない場合は、応募投資口の全部の買付け等を行わない旨の条件を付しておりましたが、応募投資口の総数（138,376口）が買付予定数の下限（247,563口）に満たなかったため、公開買付開始公告（その後の公開買付条件等の変更の公告により訂正された事項を含みます。）及び公開買付届出書（その後提出された公開買付届出書の訂正届出書により訂正された事項を含みます。）に記載のとおり、応募投資口の全部の買付け等を行いません。

### (2) 【公開買付けの結果の公告日及び公告掲載新聞名】

法第27条の13第1項の規定に基づき、令第9条の4及び府令第30条の2に規定する方法により、2026年5月19日に株式会社東京証券取引所において、本公開買付けの結果を報道機関に公表いたしました。

### (3) 【買付け等を行った株券等の数】

株券等の種類	投資口に換算した応募数	投資口に換算した買付数
投資口	138,376（口）	-（口）
新投資口予約権証券	-	-
合計	138,376	-
（潜在株券等の数の合計）	-	（-）

### (4) 【買付け等を行った後における株券等所有割合】

区分	議決権の数
報告書提出日現在における公開買付者の所有株券等に係る議決権の数（個）(a)	-
aのうち潜在株券等に係る議決権の数（個）(b)	-
bのうち株券の権利を表示する株券等信託受益証券及び株券等預託証券に係る議決権の数（個）(c)	-
報告書提出日現在における特別関係者の所有株券等に係る議決権の数（個）(d)	-
dのうち潜在株券等に係る議決権の数（個）(e)	-
eのうち株券の権利を表示する株券等信託受益証券及び株券等預託証券に係る議決権の数（個）(f)	-
対象者の総株主等の議決権の数（2026年2月28日現在）（個）(g)	467,099
買付け等後における株券等所有割合 ((a+d)/(g+(b-c)+(e-f))×100)（%）	-

（注） 「対象者の総投資主等の議決権の数（2026年2月28日現在）（個）(g)」は、対象者が2026年4月28日に公表した「2026年2月期決算短信（R E I T）」に記載された2026年2月28日現在の発行済投資口の総口数（467,099口）に係る議決権の数（467,099個）です。

- (5) 【あん分比例方式により買付け等を行う場合の計算】  
該当事項はありません。